

NPO法人 共に歩む市民の会

共に歩む市民の会広報委員会

会 報

通巻 第22号

☎ 241-0022

横浜市旭区鶴ヶ峰 2-1-16

☎ 045-953-6727

2008年3月31日 発行



～ ふるさとでの喜び ～

横浜マックデイケアセンター 田上 和則

ふるさとの山にむかいて、言うことなし、ふるさとの山はありがたきかな、とある詩人の言葉だと思います。

先日末、三泊四日で帰省しました。旅の始まりと終わりにあまりよくない事がありましたが、久しぶりにのんびり過ごすことができました。

15歳の娘と一緒に旅行は初めてで楽しみにしていました。3月の卒業式前に時間がとれそうだと言うので、今回の予定を組んだのにもかかわらず、卒業記念遠足と合唱会参加のためキャンセルになり残念でした。それと、当日羽田からの出発が45分遅れたことです。

ふるさとの言葉を聞くと、何となくほっとする自分がいます。実家で夕食を済ませてのんびりすると、帰ってきたんだなあとしみじみ思いました。次の日は「今日も長崎は雨だった」。夕方、雨も上がったので、母親が久しぶりに行きたいという「新地」（横浜の中華街のように大規模ではない）に郷土料理の「ちゃんぽん」を食べに行きました。地元の味は格別で、調子に乗って「皿うどん」も注文して、つい食べ過ぎてしまいました。

三日目の予定は、車で一時間かかる郊外の健康村に、92歳の母、67歳の長男、58歳の三男の三人、一泊温泉を楽しみました。次の朝は、近くの漁港の岸壁で「あらかぶ」を釣るつもりが「べら」を二人で十四、寒い中一時間程度気持ちよく過ごすことができました。最初で最後になる「家族水入らずの温泉旅行」になりました。

最後の日に起こった良くない事とは、空港に行くリムジンバスの中に帽子を忘れたことです。が、三年ぶりの今回の帰省も楽しく過ごさせてもらい、本当に良かったと実感しています。左耳が難聴程度で元気に生活している母親には、一日でも長く生きてほしいと思います。つまらない個人的な話ですが、最近の喜びを書かせていただきました。ありがとうございました。



『第9回 旭区精神保健福祉セミナー』



2月28日、『第9回 旭区精神保健福祉セミナー』が開催されました。

今回のテーマは 【語り合おう私たちの体験 Part 9

可能性を信じて一歩外へ～つながって、みつけよう、自分の道～】

実行委員の方や、当日参加された方に、その様子と感想をお伺いしました。

第9回旭区精神保健福祉セミナー実行委員長を終えて

足立 文夫

第1回、2回のセミナー実行委員会また、世話人会でも実行委員長が決まらず、各団
体で持ち帰ってもやりたいという人はいなかった。そのため世話人会を再度開いた結果、
当初司会を引き受けることになっていた自分が、実行委員長を務めることになり、身が
引き締まる思いで引き受けた（会議の司会も）。

今回は、分科会をどうするか各団体のアンケートを踏まえ、話を重ねたが、分科会
の代わりに講演とシンポジウムを行うことに決まった。キャッチフレーズはすぐに決ま
った。当日は、講演者の話も好評のようで帰る人も少なく良かったと思う。



第9回旭区精神保健福祉セミナーに参加して

参加者 長谷川 京子

2月28日みのりのあった一日の始まりは、前日当日の素晴らしいスタッフの協力体
制です。9回目とはいえ、各担当者の責任ある行動には目をみはるものがありました。
体験発表のお二人には、私にとってはショックであり、そして感動でした。生きるこ
との意味、親としてのあり方など、あらためて問われているようでした。違う障害を持
った鈴木さんの力強いお話に勇気をもらい、上森さんのお話で当事者にとって、病気をよ
く知ることが、回復への道につながることを教えてもらいました。旭区が、障害者も、
子どもも、お年寄りも区別無く、困ったとき、手をさしのべてお互い支えあえるよう
な町になればいいですね。

第9回旭区精神保健福祉セミナーを振り返って

旭福祉保健センター サービス課
保坂 正勝

今年度の旭区精神保健福祉セミナーは、全10回の実行委員会で議論を重ねた結果、例年とは少し趣向を変えた内容、形式になりました。

毎年恒例の「当事者からのメッセージ」では、現在入院中の方が体験発表することや、恋愛・結婚・出産について語ることがとても新鮮で、「可能性を信じて一歩外へ～つながって、みつけよう、自分の道～」というキャッチフレーズが対象とする、長期入院の方やどこにもつながっていない方へ希望を与える内容でした。また、第9回目にして初めて他障害の方と家族の方をお招きしてご講演いただいたことは、旭区の特徴である「当事者自らが活動し作り上げてきた」歴史に拮据りを持たせ、新たな一頁になるものとしてご好評いただいたと思います。

しかし、講演者や体験発表者、会場全体を交えて行った最後のシンポジウムについては、一部関係機関の方々が一方的な批判にさらされてしまい、実行委員会を代表して責任を痛感しております。シンポジウムを行うにあたり、①実名での発言は控えていただくことを会場にお願いする、②キャッチフレーズに基づきシンポジストが各々の発表や講演の内容を振り返り議論した後で、会場全体との質疑応答を行う、③当事者から関係機関への批判的発言に対して、コーディネーターを配置して公平な立場で客観的な意見を述べる、等のきめ細かな事前準備や配慮が必要だったと反省しております。せっかく参加されたのに不愉快な思いをさせてしまいました方々に、心よりお詫び申し上げます。

今回、新たなセミナーを模索するべく行った試みは、良い面も悪い面もありましたが、結果として300名以上の方々にご参加いただきました。来年度は記念すべき第10回目となりますが、新年度の実行委員会では今回の反省を是非活かして、より良いセミナーを作り上げて欲しいと願っております。





ボランティアさん



『共に歩む市民の会』のボランティアの日頃の思いをつづるリレートーク。
前回の語らい電話のKさんからバトンを手渡されたのは・・・
第6回は、丈直し等の縫い物サービスやランチづくりで大活躍のこの方です。

一昨年よりほっとぽっとのボランティアとしてメンバーの皆さんと交流の場を頂いております。息子に突然おそった病気から15年、まわりを見る余裕もなくトンネルの中、一番苦しいのは本人だと思った時から一点の光を求めて歩いて来ました。人のぬくもりが心を動かす原動力になると思いました。今ほっとぽっとで昼食作り、買い物、SSTなど参加、自分らしいスタイルでやれる事から始めるホットな雰囲気の中から役割割り、責任持ってされているメンバーさんの方々の生々した姿が自然体で私は大好きです。縫い物の好きな分野で何かお手伝いできないか話した時、早速ポスターを貼って下さり時々メンバーさんの直し物預かり届けます。ほっとぽっとが大好き!!いつまでも続けて行きたいです。

鈴木幸子さんより

会員紹介



今年で9年目を迎えた『共に歩む市民の会』ですが、現在約100名もの方々がこの会の活動に賛同し、会員となってくださっています。

そんな会員の皆様の素顔をちょっとずつご紹介していきたいと思っております♪
第6回目はこちらの方です。

No.10 うるしばらメンタルクリニック

うるし原メンタルクリニックは、二俣川駅から徒歩3分、厚木街道沿いに立地してる
デイケアが併設された街中にあるクリニックです。

診療時間は月～土曜AM10:00～PM1:00 午後は月曜PM4:00～5:30、
火曜～金曜はPM4:00～PM7:00、土曜の午後は休診となります。受付は診察終了30分前までに
お願いします。尚、初診の方は予約制ですので、事前にご連絡ください。
デイケアでは、毎週、調理、掃除プログラム、スポーツ、ミーティングなどがあり、通所して生活リズムを
整えつつ、日常生活で必要なスキルを伸ばしていく場となっています。

また、音楽や美術といった感受性を高めるプログラムもあります。年間行事は、毎年恒例の一泊旅行
やクリスマス会が2大イベントです。メンバー自身が計画を立てているため、楽しさをより実感できる、ま
た自発性を伸ばせるイベントです。

利用希望の際はお気軽にご相談ください。



第1回 『ふれあい月の市』を終えて

今年度より区の助成を受けて「地域ふれあい事業」が始まり、リサイクル班でも定期的にフリーマーケットをやってみようという声がありました。10月の区民まつりでミニフリーマーケットが好評だったこともあり、11月から本格的開催に向けて、稼動することとなりました。

そして地域の方々とほっとぼっとの交流のきっかけになれば・・・という思いを込めて「ふれあい月の市」と名前をつけ、いざスタート！！

・・・ところが、献品の募集、品物の値付け、地域へのPR等慣れない作業にメンバーもスタッフも四苦八苦の日々が続きました。それでも、あけぼの会、木々の会、百屋さんも参加してくれる事になり、フリーマーケット経験者からのアドバイスを受けながら、何とか2月5日を迎えることができました。

当日は寒いながらも天気恵まれ、時間通りに開店することができました。最初は来場者も少なく、メンバー達が商店街でビラを配ったり、通りまで看板を出して一生懸命お客さんをお呼び込んでくれました。おかげで昼前には来場者も増え、別館の庭はいつにもなくにぎやかな雰囲気となりました。関係機関の方々やメンバーを始め、地域の方々も来場してくれ、売り子さんとの会話を楽しみながら買い物をしていられました。

また、日向台ダイケアのメンバーもプログラムの一環として来られ、次回は自分達も参加してみたいと話されていました。

初めてという事もあり、不慣れな部分も多々ありましたが、みなさんには楽しんでいただけたのではないのでしょうか。これからもほっとぼっとでは月の市を通して地域の方々との様々なかかわりを期待していきたいと思っています。

(月の市・担当職員 岡田)

～事務局ニュース～

★ 第17回理事会報告 3月12日(水)開催 18:30～21:30 ほっとぼっと

〈出席〉川田、紺野、高野、高橋、田山、深井、松元、吉田 (欠席＝青柳、松迫)

〈審議事項〉・ほっとぼっと20年度について…3年間の活動をもとに相談支援態勢づくり等の課題に取り組む基本方針と事業計画・予算等を審議し決定。

- ・退院促進支援事業について…ピアによる支援、情報提供資料作成、ネットワークづくり等も含めて行なう。非常勤職員(週2日)を新たに1名採用(高野職員は週3日勤務)。
 - ・市民の会ロゴマーク公募案について…保留。ほっとぼっとマークとの関連等を再検討。
 - ・定期総会の日程…6月28日(土)午後15時に区役所会議室にて開催する。
 - ・その他、給与規程の一部改定、理事の欠員補充等を審議。パンフレットづくり等の報告。
- 次回理事会は5月14日(水)夜に開催予定。

訃報 本会理事 太田三郎氏(あけぼの会会長)が心筋梗塞の為 2月15日に逝去されました。享年71歳でした。生前のご支援ご尽力に深謝し、謹んでご冥福をお祈り致します。

- 第 21 号から、旭区市民活動支援センター「みなくる」（鶴ヶ峰駅下車 <http://www.city.yokohama.jp/me/asahi/kuminriyo/koukyo/syougai.html>）に市民の会会報を置かせていただけるようになりました。
- 市民の会のパンフレットを作成するプロジェクトが 2007 年 12 月から始動！次年度総会開催通知に同封できるよう全力で取り組んでいます。乞うご期待下さい。

◇◆◇◆【新規入会 ありがとうございます!】◇◆◇◆◇◆◇◆

*正会員 (12/16 ~ 3/19) 2名 敬称略 鮎澤のり子 吉本裕子

会員継続・会費納入のお願い 新年度を迎えました。皆様には引き続き市民の会会員として活動にご参加ご支援ください。活動の‘もとで’会費納入のほうもよろしくお願いいたします。

市民の会・ほっとぽっと スケジュール4~6月



関心のあるイベントがあれば、お気軽にご参加ください。

- 4月16日(水) 『市民の会 幹事会』 18時半~ ほっとぽっと2階
『生活保護法の改正について』話題提供=森 輝幸さん(旭福祉保健センター)
- 4月19日(土) 『第2回 月の市』 11時~15時 (雨天決行)
・・・別館前にてフリーマーケット
- 4月25日(金) 『自立支援法勉強会・・・ヘルパー利用について』 14時~16時 別館
- 4月29日(火・祝) 『日本の音で春を聴く 箏と尺八のコンサート』
13:45 (開場) 14:00 (開演) 定員 25名 ほっとぽっと別館
お申し込み⇒☎045 (953) 6727
- 6月28日(土) 『共に歩む市民の会 定期総会』 於 旭区役所 (時間等の詳細は後日)

編集後記

- ❖桜の季節は、わくわく気分です。「喜び過ぎず、沈み過ぎず」ほぼ安定した調子で暮らしたいものです。いつも支え合いながら… 松元
- ❖年度末何かとせわしないですが、結論や結果のみにとらわれず、その過程や暫定的な自分を楽しめる余裕を持ちたいものです。 森
- ❖Q 近頃この会報の仕上げを一手に担当しているこの人はいったいダレでしょう？
①自称「自然派」です ②毎年インフルエンザにかかるのが悩みです ③人呼んで『旭区に咲く梅の花』。 正解の人には豪華賞品を出すよう本人に交渉中。 川田
- ❖今年は時期を逃さず、梅を観に行きました。桜ほどの豪華さは無いけれど、その控えめさに心惹かれます。梅のようなひとになりたいなあ(?) 高木